

町の中心部を流れる

天の川

町の中心部を流れる天の川は、渡島山地の分水嶺に源を発する、自然豊かな流域延長二八・六kmの二級河川です。中流の中州には、アオサギのコロニー（繁殖地）があると言われ、晩秋には優雅な舞を披露してくれます。

元和四年（一六二八）キリスト教イエズス会の宣教師ジエロニモ・デ・アンジェリス（イタリヤ・シシリー島出身）がヨーロッパ人最初の北海道上陸を果たし、その三年後、アンジェリスが作成した蝦夷地図の上陸地点に「ツガ」と表記されていたことから、上ノ国の古名ツガ（テガ）の漢字表記「天河」が天の川の名前の由来であると言われています。天にかかる「天の川」と同様に、古くから町の人に親しまれ、上ノ国の歴史を静かに見守っています。

